



国際ロータリー第2640地区

和歌山東南ロータリークラブ【週報】

会長:塩崎和仁 幹事:坂本武司 会報委員長:小林一三

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-serc.org <http://wakayama-serc.org/>

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第1, 第2, 18:30~(夜) 第3, 第4, 第5, 12:30~(昼)

先週例会報告 会場監督 中岡隆文

ゲスト: 宇都宮越子様

ビジター: 大阪中央RC 荒川弘也様、和歌山RC 河村秀樹様

《 会長挨拶 》 塩崎和仁会長

- ① 宇都宮病院 副理事長
 認定NPO 法人 健康とコミュニティを支援する「なるコミ」代表理事
 宇都宮 越子様 後ほど卓話、宜しくお願い致します。
- ② 先日、東南会ゴルフコンペに参加された会員の皆様お疲れ様でした。
 坂本幹事、いつも世話して頂きありがとうございます。
- ③ 元日に石川県能登地方で発生し、最大で震度7の揺れを観測した地震から、
 2週間になります。後ほど支援金BOXを回しますので宜しくお願い致します。
- ④ 阪神淡路大震災から、きょうで29年です。



《 幹事報告 》 坂本武司幹事

- ① 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いています。
 ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
 ・2023-24年度「地区会員増強・維持/女性活躍・推進委員会 報告書」
 ・ローターの友 電子版閲覧の新ID・新パスワード
- ② 地区より「令和6年度能登半島地震支援金」について。
 1月1日に石川県能登地方で発生しました地震災害におきまして各クラブ
 より支援金を募り、被災地区の第2610地区へお届けしたいとお知らせが
 届いております。
 今から募金BOXをまわさせていただきます。皆様のご協力よろしくお願いたします。
- ③ 本日例会終了後、臨時理事会を開催致します。役員・理事の皆様、宜しくお願い致します。



| 本日の出席報告 | | | | | 寄付金 | ニコニコ | 米山記念 奨学会 | ロータリー 財団 | 東南 育英会 |
|---------|-----|------|-----|--------|-----|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 会員総数 | 39名 | | 出席者 | 出席率 | | | | | |
| 出席免除会員 | 2名 | 1/17 | 21名 | 55.26% | 累計 | 1,506,189 | 169,000 | 206,000 | 10,000 |

《 ニコニコ箱報告 》 平 平治副会計

大阪中央 RC 荒川弘也様：大阪中央ロータリークラブの荒川です。
今後ともよろしくお願ひします。

和歌山 RC 河村秀樹様：本日、よろしくお願ひいたします 感謝。

塩崎君：宇都宮越子様 本日は宜しくお願ひします。

坂本君：皆様 体調にはくれぐれもお気をつけて下さい。

稲葉君：新年のごあいさつ、本年もよろしく。賀状ありがとう。

土屋君：宇都宮越子様 本日卓話よろしくお願ひします。



《 米山記念奨学会 》

吉田君：第2回東南会優勝でした。これはもうメンバーのおかげです。ありがとうございました。

山田君：本日は宇都宮様よろしくお願ひ致します。また大阪中央 RC 荒川様、和歌山 RC 河村様
お越し頂きまして ありがとうございます。

《 ローター財団 》

土屋君：大阪中央 RC 荒川会長、宇都宮越子様、和歌山 RC 増強委員長のきんちゃん、お越しいた
だきまして ありがとうございます。

おついでにお越しくださいました。

和歌山 RC 河村様
大阪中央 RC 荒川様

「リポーター紹介」



♪ ソング斉唱 ♪「四つのテスト」 赤在ソング委員



外部卓話 「地域の結び目づくり ネットワーキングと経営」

認定 NPO 法人健康とコミュニティを支援する「なるコミ」代表理事 宇都宮越子様



「企業の時代」から「コミュニティの時代」へ。経済成長の過程で、最低限のインフラ整備が進展した後はそれぞれの地域の特殊事情を重視した個別の地域計画が必要である。同時に、ある程度の物質的豊かさを手にした住民のニーズは多様化している。そのため、今日の社会的実践活動は、大量生産のパラダイムから、組織間のネットワーク、コラボレーション、パートナーシップの構築といった、新しい形態へと急速に変化している。それにともない、私たち経営者のコミュニティや地域、知識の創造も新しいパラダイムが求められている。

医療法人久仁会 宇都宮病院では、平成27年に地域の健康とコミュニティを支援する施設『なるコミ(鳴神にあるコミュニティの略)』を開設し、新しい形の地域の結び目づくりを支援している。これまでのネットワークからネットワーキングへ。地域の緩やかな結び目作りや地域貢献活動は、本業の経営にも患者数の増加やイメージアップ、雇用促進など効果的な影響をもたらしている。

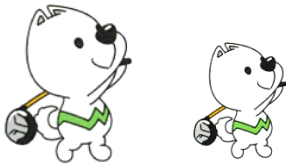
地域のニーズに柔軟に対応できる組織醸成を目指して、今後も健幸長寿の価値創造に挑んでいきたい。





第2回東南会ゴルフコンペ 2024年1月13日(土) ラ・グレースゴルフクラブ

優勝 吉田 遼会員 2位 鯨 真生様 3位 辻本圭三会員



「水路に焦点を置いた、ロータリーと国連のパートナーシップ」

MY ROTARY ニュース・特集記事「記事」 10-Jan-2024 文: Etelka Lehoczky

ロータリー会員は、国連環境計画(UNEP)との新たな協力を通じて地元の水路を清掃、保護、モニタリングできるようになりました。この戦略的パートナーシップは、国連の「持続可能な開発目標」とロータリーの重点分野である「環境」の両方に沿っています。1月10日、次期ガバナーのための会合であるロータリー国際協議会で、ステファニー・アーチック RI 会長エレクトは次のように述べました。「このパートナーシップは、ロータリーの地域社会に根ざした解決策と、UNEP の技術的な専門知識を融合させるものです」

このパートナーシップの中心となるのは、水路の健全性維持に取り組むロータリークラブとローターアクトクラブのプログラムです。Community Action for Fresh Water(淡水のための地域活動)と名付けられたこのプログラムでは、クラブが河川清掃の日を設け、健全な水路の重要性について地域社会の認識を高め、基本的な水質検査を実施し、その結果を報告することを奨励します。

UNEP 北米事務局地域ディレクター兼代表のラファエル・ペラルタさんは、このような地域に根ざした活動は、地球規模の環境保護に不可欠であると話します。

「気候変動、生物多様性の損失、汚染・廃棄物という三つの地球規模の危機と闘うには、淡水の生態系の保護、管理、回復が基本となる」とペラルタさん。「人口が増加し、経済が拡大するにつれ淡水の需要も増加するため、淡水の生態系はますます大きな圧力にさらされています」

今回のパートナーシップは、国連環境計画(UNEP)とロータリー第 9212 地区(エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン)が 2020 年に開始した試験的プログラム(Adopt a River for Sustainable Development)に基づくものです。また、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブも、これまでに淡水の生態系を浄化するために独自の活動を行ってきました。

「健全な流域は、生物多様性、森林、湿地帯、湖沼を育みます。また、農業や経済を支え、帯水層を涵養(かんよう)し、世界中の何百万という人びとに水を供給します」と、ロータリー財団専門家グループ(Cadre)メンバーのサルバドル・リコさんは話します。「汚染された河川と流域の損傷は、火災発生を招き、干ばつを引き起こし、病気の原因となり、近隣社会の経済に影響を及ぼし、気候変動の一因となります」

ロータリー財団は、3 年間にわたりプログラム資金を提供します(支援継続の可能性あり)。クラブは、地区資金を利用するか、グローバル補助金を申請して活動費用を賄うことができます。ロータリークラブとローターアクトクラブは、地元の水域(河川、湖沼、湿地、自然の貯水池)を特定し、その保護と回復に取り組みます。その後、地元の地域社会やその他の関係団体と協力して、水域を脅かす主な脅威を特定し、最終的に非政府組織、民間企業、政府機関と協力して活動計画を立てます。